



北永田地区



かみ すき いさお
紙透 功 会長

＼紙透会長ってこんな人！／

趣味はカメラ。花が好きで、尾瀬へは水芭蕉を撮りに度々訪ねていた。

キラリの取材では自分が撮られる立場で、とても緊張した…。

北永田地区について

江戸時代の荷役制度「助郷（すけごう）」を再現した助郷行列を10月に行う「ふるさとふれあいまつり」で披露しています。北永田の伝統的な行事を、地域全体を巻き込んで、若い人たちに伝承していきたいと思っています。



ふるさとふれあいまつり「助郷行列」



春日神社・連合夏まつり

自治会町内会活動に参加されたきっかけ

北永田で生まれ、育ててくれた地域に恩返しをしたいという気持ちから始めました。当時37才。仕事が一番忙しい時期に町内会長を引き受け、40年以上地域の活動に携わっています。「自分は一番下っ端」という気持ちで、皆さんがいるいろいろな意見を発言できる環境を大事にしていきたいと思っています。

南区制80周年を迎えての思い

若い頃は、仕事一本で走り続けてきたので、これを機に南区の歴史など、いろいろ学んでみたいですね。南区80才、僕より若いなあ（笑）。

地区の昔と今について

80年前は戦時中でした。僕が小学生の頃、横浜の中心地へ向かう爆撃機が永田の上空を通過し、その後、空が真っ赤になったことを覚えています。井土ヶ谷辺りでは空襲があり、通っていた井土ヶ谷小学校の校舎も焼けました。

昔の永田は山や畑が多くあり、あけびや野イチゴ、なつめ、桑の実など、子どもの頃、おやつ代わりに自然のものをよく食べた思い出があります。

地区のおすすめポイント

永田山寶林寺



次世代へのメッセージ

“向こう三軒両隣”の関係がしっかりしていて、住むにはよいところですよ。若い人たちには、ぜひ、地域のため、人のために活躍してほしいです。

